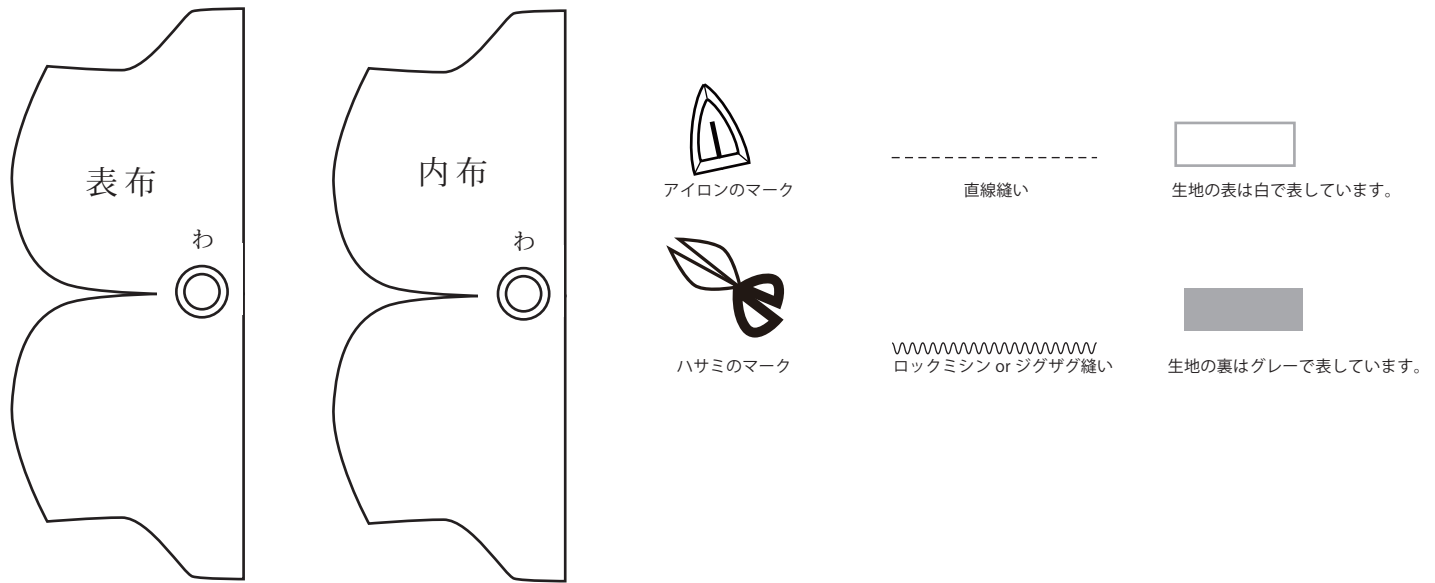


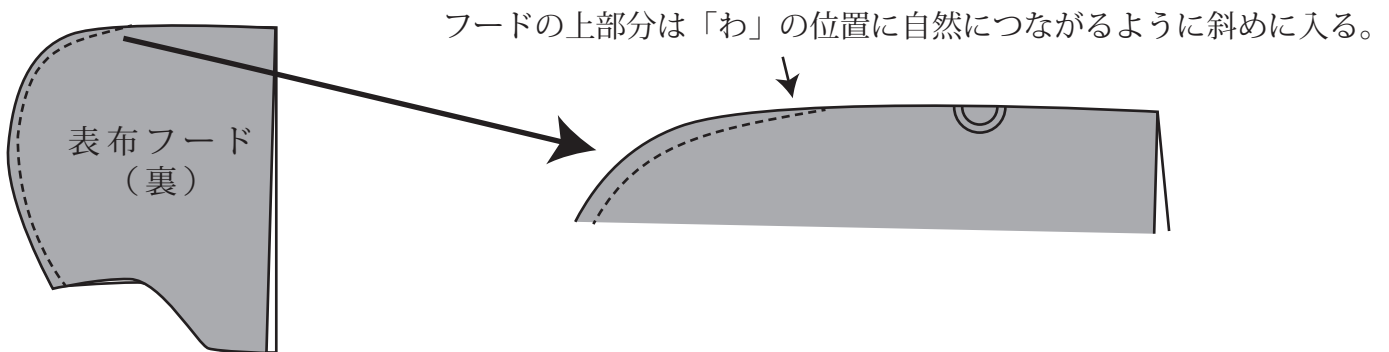
# フードを「わ」で裁断した場合の縫い方

この縫い方は表紙に記載されている「縫製手順」の①と③の補足です。  
フードを「わ」にしない場合の縫い方は4枚目を参考にしてください。

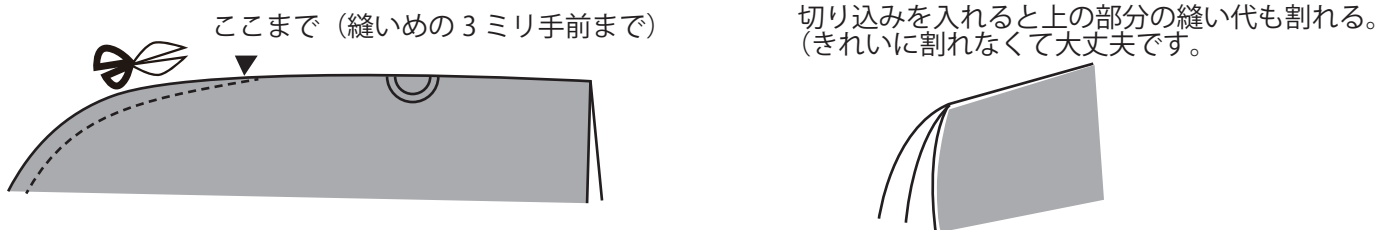


## 1. フードの後ろ側を縫う

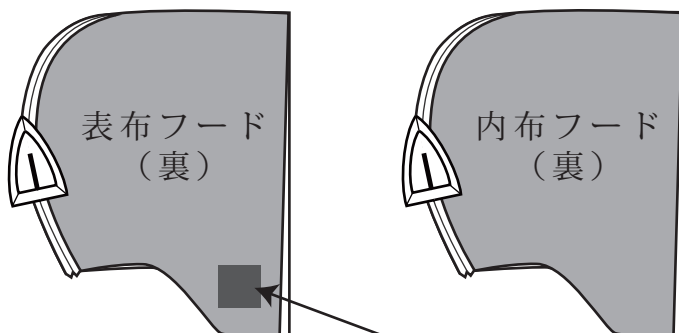
1-1. 図のように中表に合わせて表布のフードの後ろ部分を縫う。



1-2. フードの頂点の縫い代に切り込みをいれて縫い代を開く



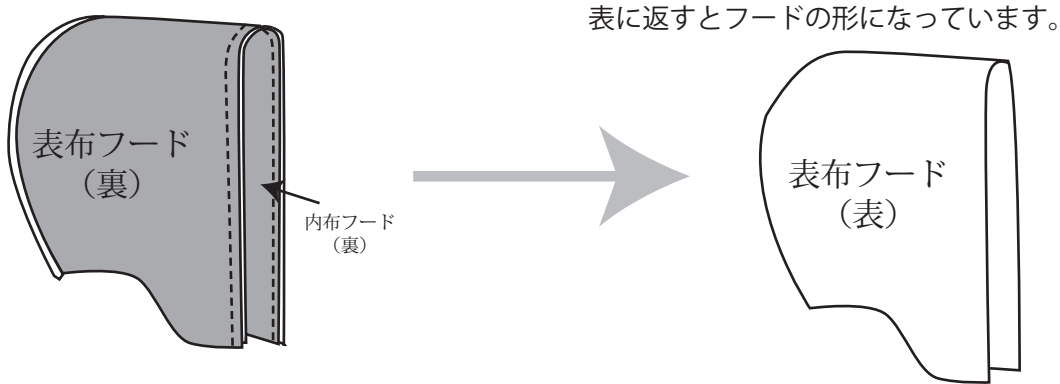
1-3. 同様に内布のフードも縫う。それぞれ後ろの縫い代はアイロンを使って割っておく。  
フード口にリボンなどを通す場合は表布 (裏) のリボン通し口に接着芯を貼ってボタンホールを作る



リボン通し口を作る場合のみ接着芯を貼る。

## 2. 表布と内布のフードを合わせる

2-1. 表布フードと内布フードを中表にあわせてフード口を縫い代1cmで縫う。



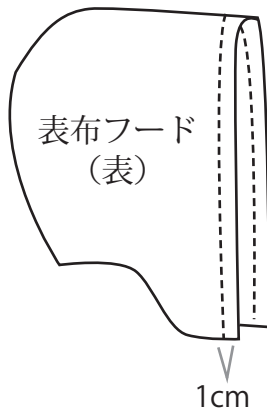
2-2. フードを表に戻し、お好みでフード口にステッチを入れます。  
ボタンホールを開けた場合はステッチはフード口より3cmのところになります。

【ステッチしない場合】



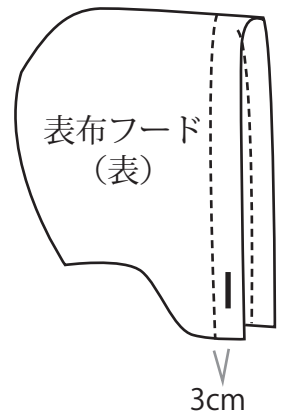
ステッチをしないと  
ふんわり優しいイメージ。  
ただ、内布が飛び出しやすい。

【1cmのステッチをした場合】



フード口がすこししっかりする。  
内布が飛び出しにくくなる。

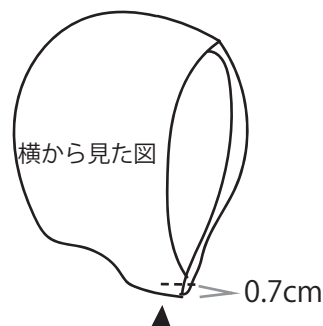
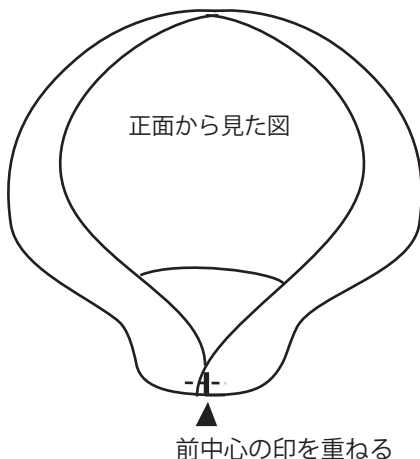
【リボンを入れる場合】



3cmのところにステッチを入れる

## 3. フードの合わせを仮縫いしてとめる

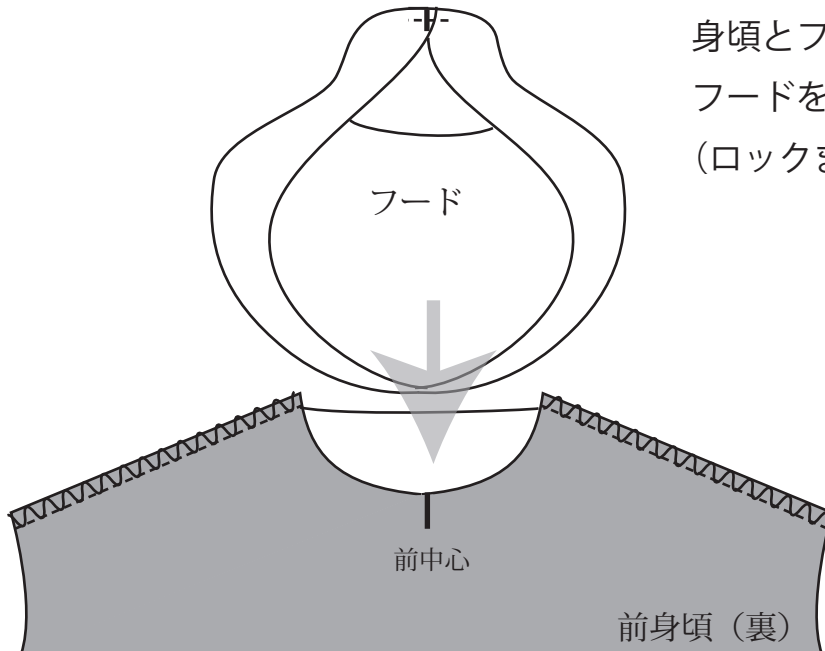
3. フードの前中心同士を左を上にして重ね合わせる。フードどおしが外れないように0.7cmのところを仮縫いする。



フードが外れないように重なり部分を下から0.7cmのところを仮縫いする。  
仮縫いの場所はフードが重なっている約3cmの部分のみします。

## 4. フードを身頃に縫いつける

4-1. フードの前中心と身頃の前中心を合わせて縫う。  
(身頃の肩は縫製手順②のとおり、先に縫っておいてください)

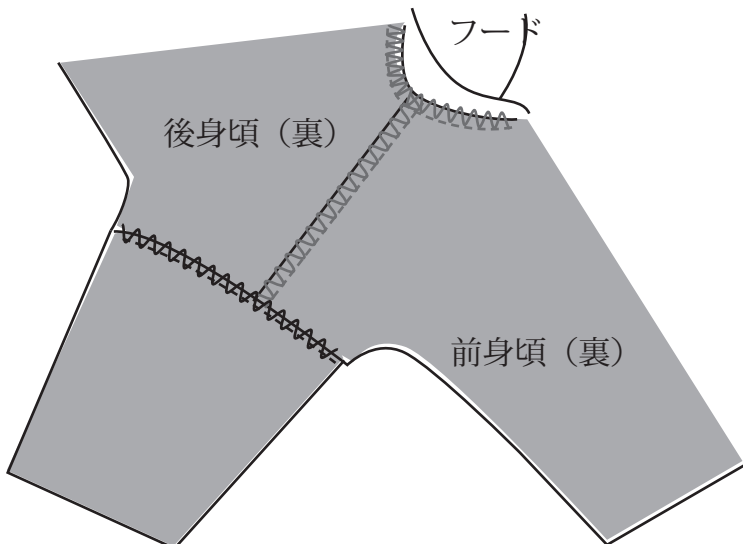


身頃とフードが中表になるように  
フードを身頃に入れて縫う。  
(ロックまたは、直線縫い+ジグザグ縫い)

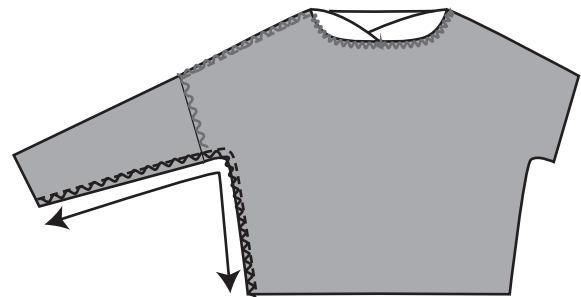


## その後の作業

手順④ 身頃に袖をつける

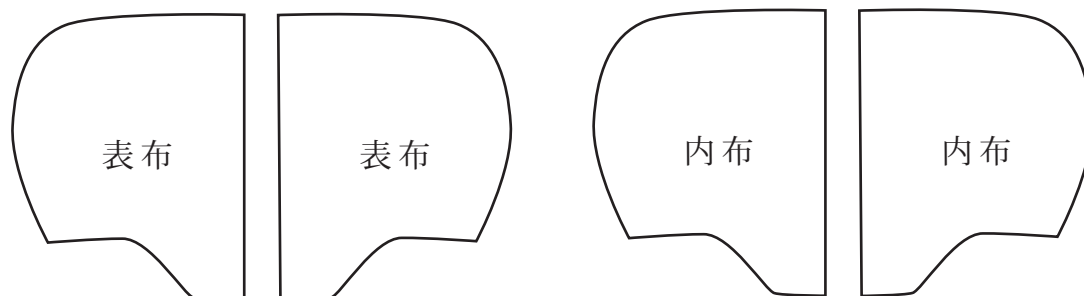


手順⑤ 袖口～身頃脇を縫い合わせる



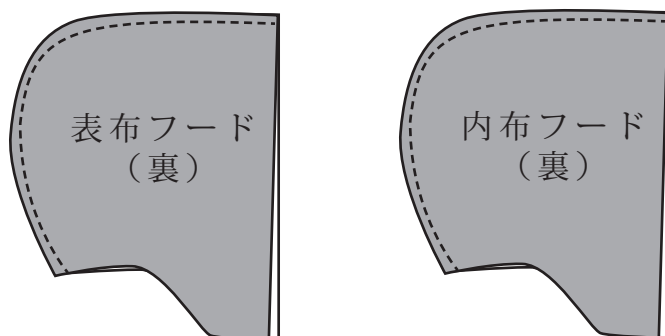
手順⑤⑥ 袖リブ、裾リブをつけて完成

# フードを2枚ずつ（合計4枚）裁断した場合の縫い方



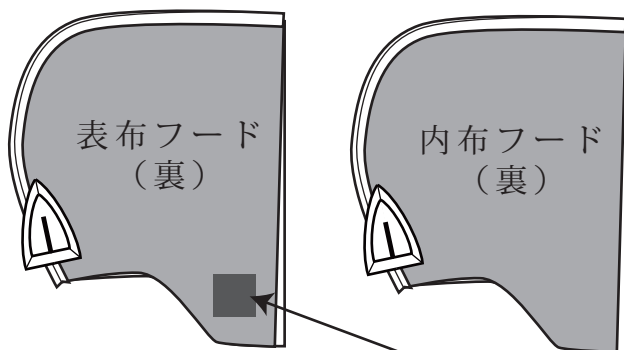
## 1. フードの後ろ側を縫う

1-1. 図のように中表に合わせて表布のフードの後ろ部分を縫う。同様に内布を縫う。



1-2. それぞれ後ろの縫い代はアイロンを使って割っておく。

フード口にリボンなどを通す場合は表布（裏）のリボン通し口に接着芯を貼ってボタンホールを作る



リボン通し口を作る場合のみ接着芯を貼る。

※この後の工程は「わ」で裁断したときの縫い方から同じです。

## 2. 表布と内布のフードをあわせる